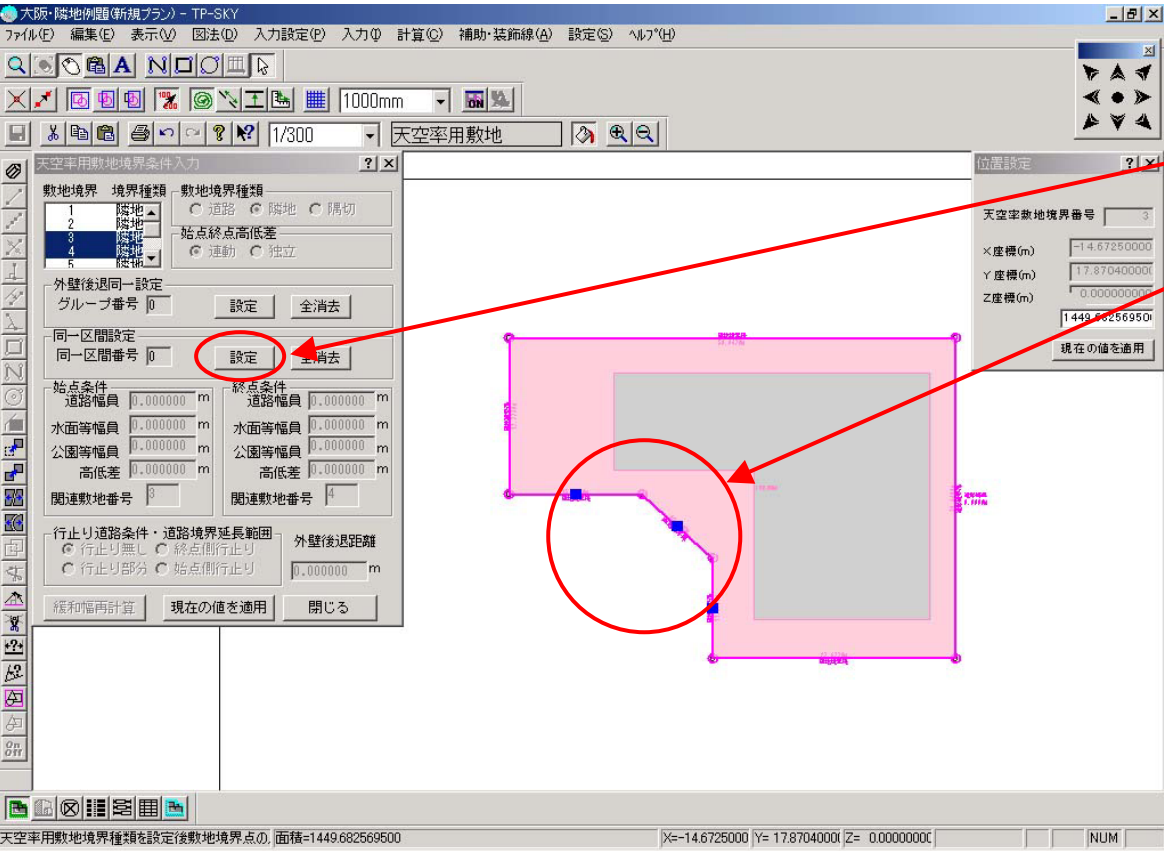


隣地が連続した入隅の場合の処理

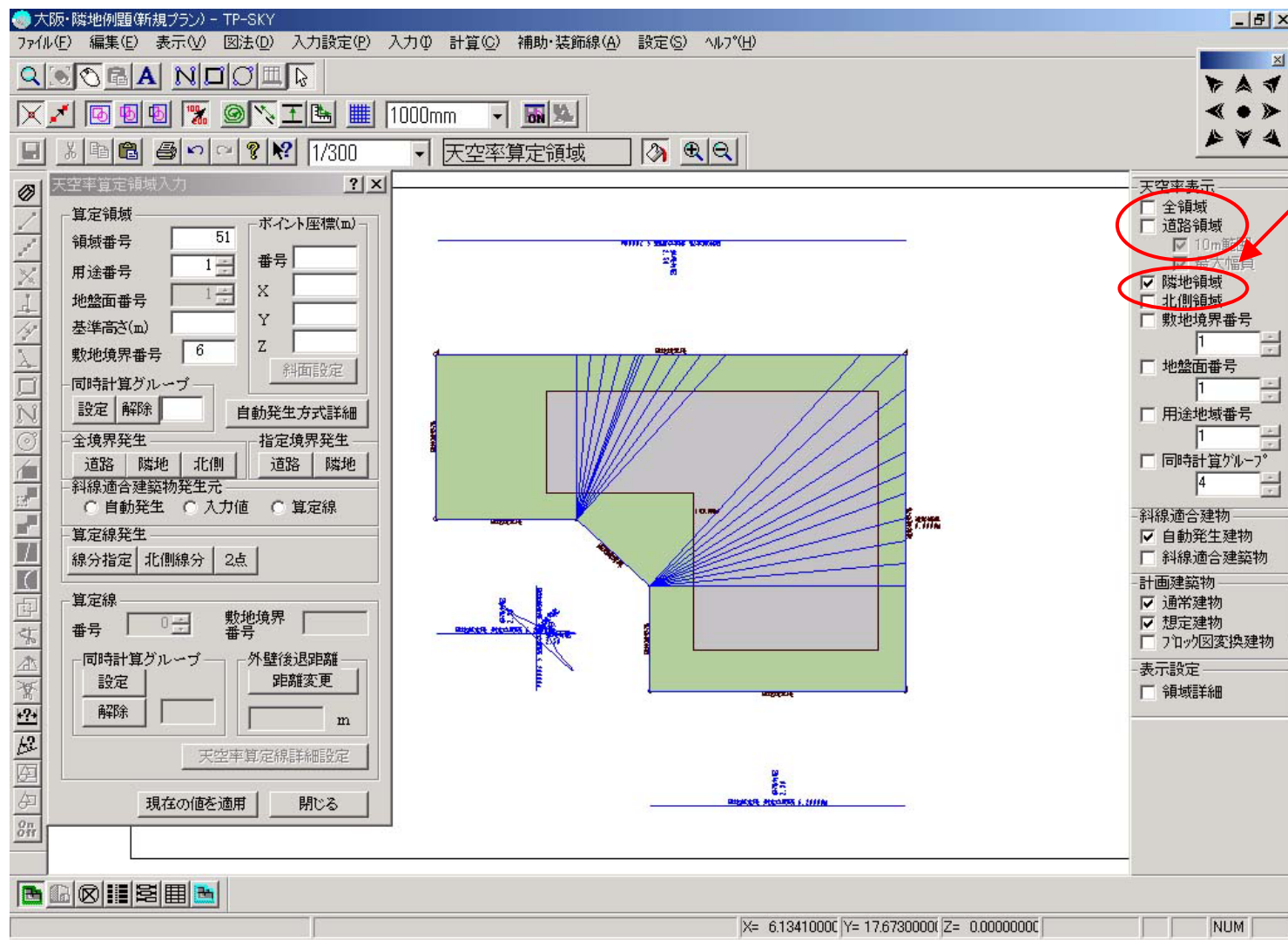


隣地の場合、入り隅角度を共有する箇所を同一設定する必要があります。

① 空率敷地で入り隅角を共有する箇所を「Shift」キーをおしながら選択し「同一区間設定」「設定」をクリックします。（外壁後退は隅きり半分の位置まででことなつてよい為設定しません。）

- ① 空率敷地で入り隅角を共有する箇所を「Shift」キーをおしながら選択し「同一区間設定」「設定」をクリックします。（外壁後退は隅きり半分の位置まででことなつてよい為設定しません。）

②大阪市方式が設定されている事を確認後「全領域発生」「隣地」をクリックし算定領域および算定線を発生させる。画面右側「天空率表示」の道路領域のチェックを解除すると隣地のみの表示となりわかり良い。



③円弧処理で敷地反対側の領域まで回りこむ為領域が分かりにくいため、同時計算をチェックし領域毎に表示する。

④計算は通常通り行う。

